

体験・イベント情報

※イベント内容は変更される可能性があります。
詳細は登呂博物館ホームページでご確認ください。

4月 登呂の田んぼで赤米づくり体験（市民水田）
4月下旬～11月まで
★要申込

5月 田植え体験
5月中旬～6月中旬
(日曜) ●随時受付

とろムラ体験フェスティバル
(弓矢体験・丸木舟体験など)
GW 予定



7月 登呂の田んぼで生物観察
予定 ★要申込

8月 子ども学芸員養成講座
★要申込

ドロん子パーク
(日曜・祝日) ●随時受付



ドロん子パーク

9月 みごほうきづくり体験
★要申込

石器づくり体験
予定 ★要申込

10月 登呂まつり

赤米収穫体験
(日曜・祝日) ●随時受付

11月 木工体験
★要申込



しめ縄づくり

12月 しめ縄づくり体験
★要申込

1月 お年玉プレゼント
★要観覧料



お年玉プレゼント

2月 土器づくり体験（連続講座）
2月・3月
★要申込

通年実施



火起こし体験（毎開館日）

<平日> 全2回
10:30 / 14:00
<土・日・祝> 全4回
10:00 / 11:00 / 13:30 / 14:30



とろペー

利用案内

開館時間 | 9:00 - 16:30

遺跡公園は 24 時間オープン

休館日 | 月曜日（祝日の場合はその翌日）

祝日の翌日 年末年始（12/26- 1/3）

常設展・企画展観覧料

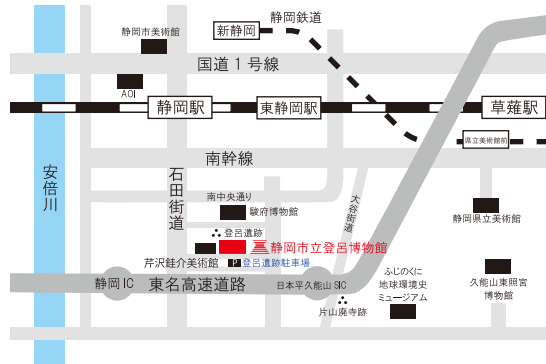
区分	個人	団体	回数	共通	団体共通
一般	300	220	1,400	580	460
高校生 大学生	200	150	930	360	280
小学生 中学生	50	40	230	120	90

団体は 30 名以上。回数券は 5 回分。
「共通」は隣接する芹沢銈介美術館との共通券（美術館開館時にのみ販売）。
静岡市内在住の 70 歳以上の方・小中学生（通学含む）、未就学児は無料。
障がい者手帳等の提示により、本人及び同伴者1名は無料。
博物館への入館は無料です。1階弥生体験展示室などがご利用できます。

アクセス

《バス》 JR 静岡駅南口 22 番バス乗り場から
石田街道線「登呂遺跡」行き（約10分）終点下車

《クルマ》 東名日本平久能山 SIC から約10分
東名静岡 IC から約10分
JR 静岡駅南口から約10分
遺跡南側に有料駐車場（50 台）



静岡市立登呂博物館

〒422-8033
静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号
Tel 054-285-0476 Fax 054-287-1466
<https://www.shizuoka-toromuseum.jp>



とろペー

2025-2026 スケジュール Museum Schedule

静岡市立登呂博物館 Shizuoka City Toro Museum



最新情報はホームページを見てね！



ホームページ

体験・イベントの様子



25	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat

春

2025年4月26日(土) - 6月29日(日)

しずおかタムラビル2025

～登呂遺跡のリエトアト～

登呂遺跡のある静岡市では、登呂ムラに人々が住むよりもはるか昔から生活が営まれていました。この展示では、登呂ムラが営まれていた弥生時代と、その前後の時代(縄文時代や古墳時代)に注目します。静岡地域の原始・古代(縄文時代～古墳時代)に関連する出土品を中心に、考古学や発掘調査によって覗き見ることのできる静岡市の歴史をご紹介します。



弥生土器 (登呂遺跡出土)



縄文土器 (堀ノ内遺跡出土)

夏

2025年7月19日(土) - 9月15日(月祝)

いせきのZOO

～出土品にみる動物たち～

発掘調査でみつかるとる出土品には、骨や角など動物の一部だけでなく、動物を模したモノもあります。これらの出土品から、動物を食べる・動物と暮らすなどの行為以外にも祈りや願いなど、人々と動物の間わりをみることができそうです。この展示では、骨角器や動物型の出土品、動物の名前が付けられた資料など動物に関わる出土品を紹介しながら、人々と動物の繋がりをご紹介します。



鳥形木製品 (登呂遺跡出土)



灼骨 (登呂遺跡出土)

秋

2025年10月4日(土) - 12月7日(日)

大昔へのまなざし

～大昔の生活をどうイメージしてきたか～

「自分たちの遠い昔の先祖は、どんな社会を生きて、どんな生活をしてきたのか」と先人たちは考え、江戸時代から熱い思いをもってその疑問にアプローチしてきました。戦後間もない登呂遺跡の発掘調査以降は発掘調査がその手段となり、そこで導き出された成果を基に、表現者(画家・小説家・漫画家・アニメーターなど)は、その様子がわかるようにイメージをふくらませた作品(絵画、小説、漫画、アニメなど)をつくりました。そうした作品を通して、大昔の生活イメージ、社会にどう定着してきたかを紹介します。



弥生時代(中村絵画)



登呂遺跡

冬

2026年1月10日(土) - 3月22日(日)

駿河国分寺展

～片山廃寺跡と古代の仏教文化～

国指定史跡片山廃寺跡(静岡市駿河区大谷)は、有度山の西に位置する奈良時代の寺院跡です。昭和5年の発見以来、金堂など寺院を構成する建物跡が確認され、平成20年には塔跡が発見されたことなどから「駿河国分寺」の跡であることが確定しました。当時この地に建てられた駿河国分寺は、どのような寺院だったのか、この企画展では、史跡指定60年を記念し、これまでの発掘の成果などから駿河国分寺やこの地の古代仏教文化の様相について紹介します。



鬼瓦 (片山廃寺跡出土)



片山廃寺跡講堂跡

10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat